

名家連ニュース

令和4年4月11日(月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.863号

◆◇ 令和4年3月 家族SST講座報告 ◇◇

3月26日(土)、家族SST講座が、名古屋市北区の総合社会福祉会館7階の研修室で開催されました。雨の中10名の方が参加されました。

まず、吉田先生から、SSTとは「ソーシャル スキルト レーニング」の英語頭文字を取った略語で、S:利用者の希望に基づき、人との関わりで S:行動をより適切で効果的に行うことができる技を T:身に付け手助け、援助の方法を学ぶ事との説明がありました。

参加者の関心がある話を題材としたテーマに絞り、グループワークを行いました。

Aさんの事例

40歳になる娘さんについてのお悩みです。病識が無く、仕事が続かない。親にお金をいつも借りる。頑なに精神科に行こうとしない。お金の話や障害年金の話をしようとしても会話にならない。「どうすれば、お金や生活の会話ができるだろう。娘のために障害年金を受給したい。」ということでした。

※参加者からは、「お金の見える化を」共に実施し、一か月生活するのに、何にいくらいるか書き出し、娘さんと共に考え、気づきを待つ。という案が出されました。吉田先生からは、娘さんが、将来年金が必要と思った時の為に、家族会や年金事務所への相談、中学生時代受診した初診クリニックの資料集め、基幹支援センターへの相談などの準備をしながらタイミングを待ったらどうですかとアドバイスされました。



Bさんの事例

息子さんの演奏について、上手になったと自分の気持ちを抑えて言えない

※事実を褒めて、言葉で伝える。「録音して聞かせてくれてありがとう」「次はもう少しこうしてくれたら、私は(主語を付けて)嬉しいな」というような言葉がけをしたらどうですかと先生は話されました。

次回以降の予定は、
4月23日(土)、5月28日(土)、
6月25日(土)。いずれも、
総合社会福祉会館7階中会議室
です。(担当:冨永)